

庁

六年
画数 5
筆順 戸 庁
オン チヨウ
クン

成り立ち



「聴(氣をつけて聞くこと)」の意味を借りた「丁」と、自由に入入りできる家の形を表した「戸」とを組み合わせて作った字です。

「人々が自由に出入りし、その人々の言うことをよく聞いて、その希望をかなえてやる『役所』を表した字です。『役所』のことを表した字です。【例】官庁。

今は、『役所』の名前につける字として使われています。

【例】都庁、県庁、警視庁、教育庁、水産庁、科学技術庁、特許庁、文化庁、検察庁。

使い方

▽ぼくのおとうさんは県庁に勤めています。県民の希望をよく聞いて、県民のために働くのが仕事です。

▽ぼくは大きくなったら、警視庁のおまわりさんになりたいと思います。悪い人をつかまえるのは、とても大切な仕事です。

熟語例

▽官庁(国の事務を扱う機関。役所)

▽都庁(東京都の事務を取り扱う役所)

▽県庁(各県の事務を取り扱う役所)

▽教育庁(教育関係の事務を取り扱う役所)

▽水産庁(水産物に関する事務を取り扱う役所。農林水産省の外局)

▽特許庁(発明や考察についての特許に関する事務を取り扱う役所。通産省の外局)

▽検察庁(検察官が行う事務、例えば、犯罪の捜査や公訴などを統轄する役所)

▽登庁(役人が官庁に出勤すること。「新しい内閣の閣僚に初登庁の感想を聞く」などというふうには、つかいません。【知】「退庁」)

使い方

▽夏休みに富士山に登りました。とても苦しかったけれど、頂に着いて下をながめおろした時には、その苦しさもいつべんに吹きとんでしまいました。

▽台湾には、夏至の日に、太陽が天頂を通る所があります。太陽が真東から上り、影が真西にできますが、太陽が天頂に近づくにつれて影が短くなり、天頂に来ると、影は無くなってしまいます。

熟語例

▽天頂(立っている人の真上の天。「天の頂」という意味で作られたことばです。「頂上」の意味にもつかいません。)

▽頂上(「頂」のこと。また、「最高」の意味にもつかいません。【例】幸せの頂上)

▽絶頂(「頂上」のこと。絶は、それ以上が無い意味。「最高」の意味にもつかわれず。【例】人気絶頂)

▽骨頂(骨張の当て字。「骨張る(意地を張る)」を音読みしたものです。【例】愚の骨頂(愚か者の意地つ張り)

▽頂戴(「頭の上に載せる」こと。物を目上の者から「もらう」意味につかいます。「もらう」の敬語)

頂

六年
画数 11
筆順 丁 頂
オン チヨウ
クン いただき・いただい

成り立ち



人の頭の形を表した「真」と、頭のでっぺんをたたく「釘」の形を表した「丁」とを組み合わせて作った字です。

「人の頭のでっぺん(いただき)」という意味を表した字です。【例】頂門の一針。

転じて、「物の一番上」「一番高い所」という意味に使われます。【例】山頂、絶頂、頂上、登頂、頂点。

目上の人から物を受け取る時には、頭の「頂」の高さにまで手を上げて受け取りますので、これを「頂く」と言うようになりました。【例】頂戴。